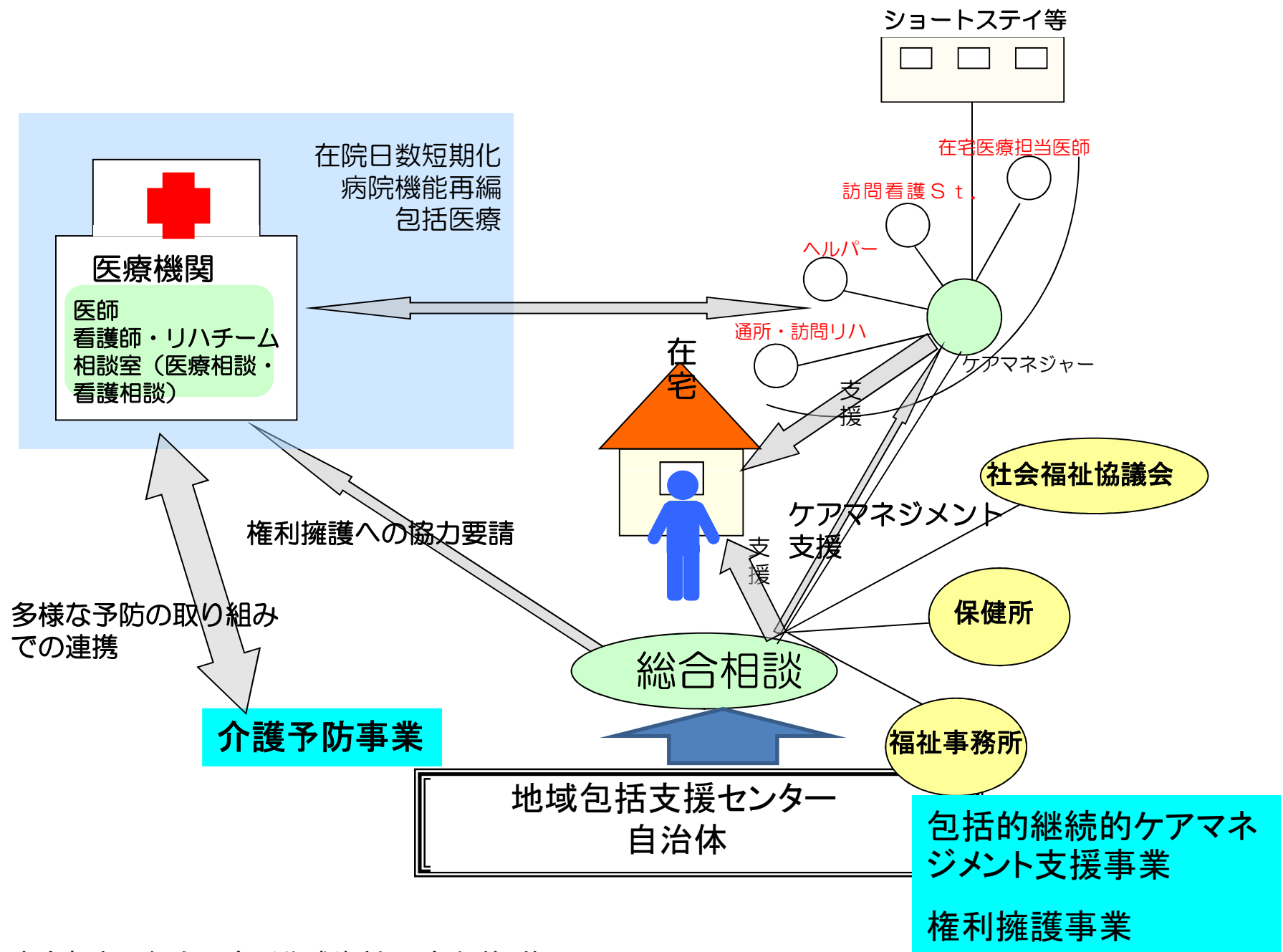


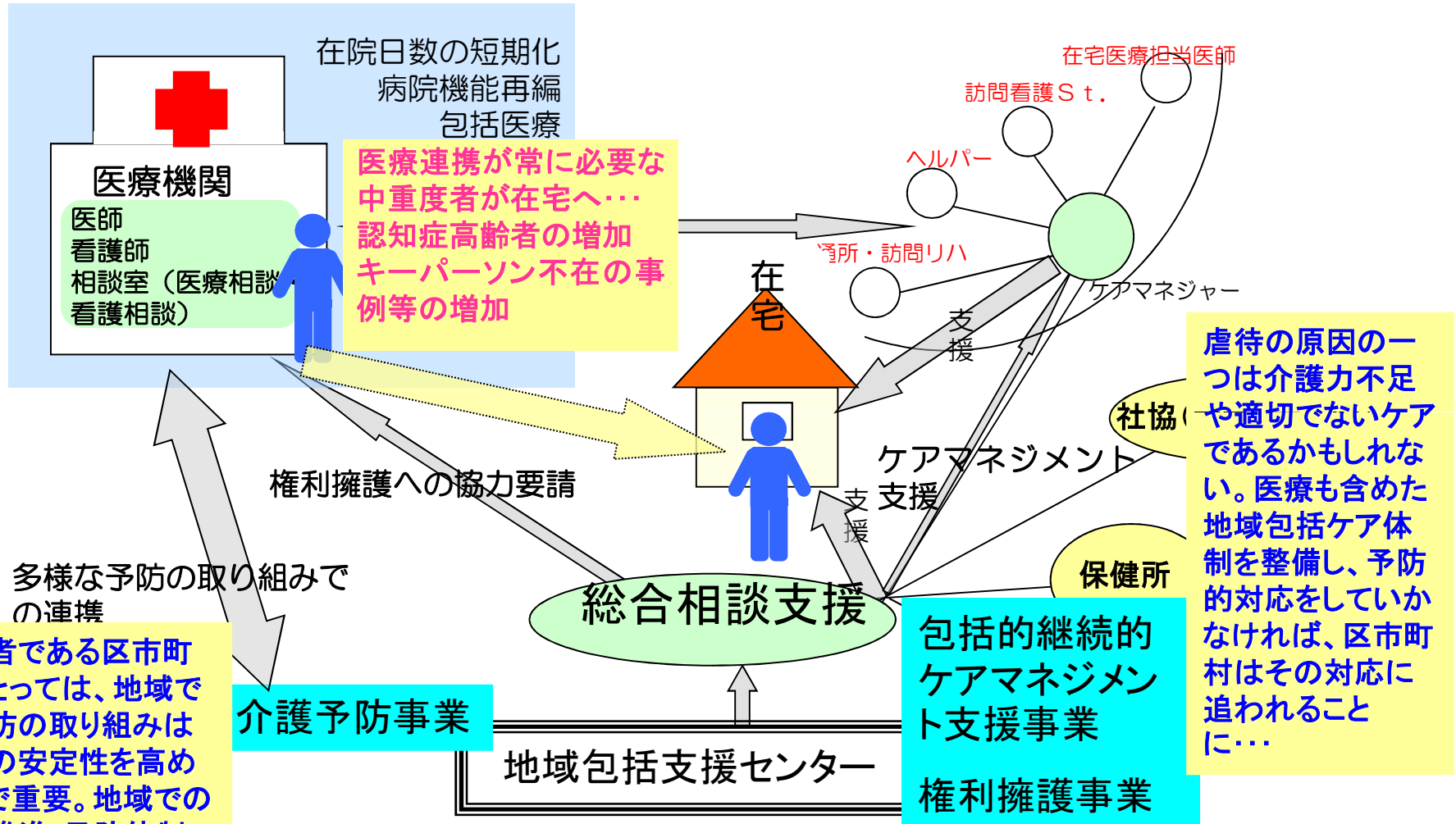
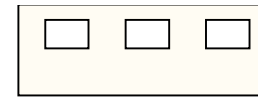
2015年8月27日(木)

# 地域協働による 地域包括ケアの取り組み

立川市社会福祉協議会  
立川市南部西ふじみ地域包括支援センター  
山本 繁樹



ショートステイ等



保険者である区市町村にとっては、地域での予防の取り組みは制度の安定性を高める上で重要。地域での健康推進・予防体制構築には地域連携と住民参加が不可欠

**総合相談支援の基盤としての地域ケアネットワーク形成**

# 地域ケアにおける諸課題

- ① 家族構成数の減少に伴う家族の介護力がない事例への対応(高齢者同士の老々介護、介護者も認知症・精神障害や疾病を抱えている、介護者の長時間勤務・失業、男性介護者の課題……)

⇒ 介護者支援と虐待防止

- ② 単身で身寄りがない世帯の急増に伴う生活支援の課題

⇒ 生活援助(家事支援)による環境整備

⇒ 近隣による見守り・支え合い体制

⇒ 認知症ケアでは成年後見制度や日常生活自立支援事業等の地域の権利擁護システムとの連携が必須

# 社会福祉協議会

## 地域あんしんセンターたちかわの事業内容

- ① 日常生活自立支援事業の実施
- ② 成年後見制度利用支援事業、及び普及・推進
- ③ 成年後見制度の推進機関としての役割
- ④ 福祉サービス利用にかかる総合相談の実施
- ⑤ 入居支援福祉制度(住宅保証人制度)の実施
- ⑥ 相続相談の実施
- ⑦ 虐待対応と虐待防止ネットワーク連絡会への参画
- ⑧ 関係機関・専門職後見人のネットワーク形成
- ⑨ 市民後見人の育成

地域密着の総合的な権利擁護センターの設置が全国的に必要

# 地域ケアにおける諸課題

## ③介護度が重い在宅者の増加。介護保険給付 限度額の課題。特に夜間帯対応と財産課題

⇒限度額を超えたサービスが必要なケースへの対応

⇒有料サービス導入時の世帯の財産課題

⇒施設入居待機者への対応

⇒認知症があり在宅独居で暮らしていく方も増加する。医療、介護、生活支援、権利擁護、居住支援、所得保障、地域の支え等の適切な組み合わせによる支援。

# 地域ケアにおける諸課題

## ④ 病院における退院支援計画策定、カンファレンス、在宅ケアチームとの双方向の連携の重要性

⇒ 外来時から、および入院時の早期アセスメント、総合機能評価、退院支援計画の策定

⇒ 病院・施設と在宅ケアチームとの入退院・入退所時連携の確立

※ ケアマネジャーが付いてる場合、付いていない場合の対応

⇒ 日常からの病院・施設スタッフと地域スタッフ間の顔が見える関係の構築の必要性

⇒ 地域レベルのケア会議、関係者の連絡会議、研修会等のシステム構築が必要

# 地域ケアにおける諸課題

## ⑤ 自己決定支援の重要性。その前提としての相談支援・対話と地域生活における選択肢の提示

⇒ 医療、介護、福祉、権利擁護、居住支援等の地域ケアに関わる社会資源情報の整備。サービス利用者・地域住民へのわかりやすい情報の周知

⇒ 本人らしく生き、どのように死んでいくのか、自己決定を支える

⇒ そのためには地域の相談窓口間の連携も必要

⇒ 家族会、セルフヘルプグループ、住民相互の助け合い等のインフォーマルサービスも含めた社会資源開発・支援への取り組み



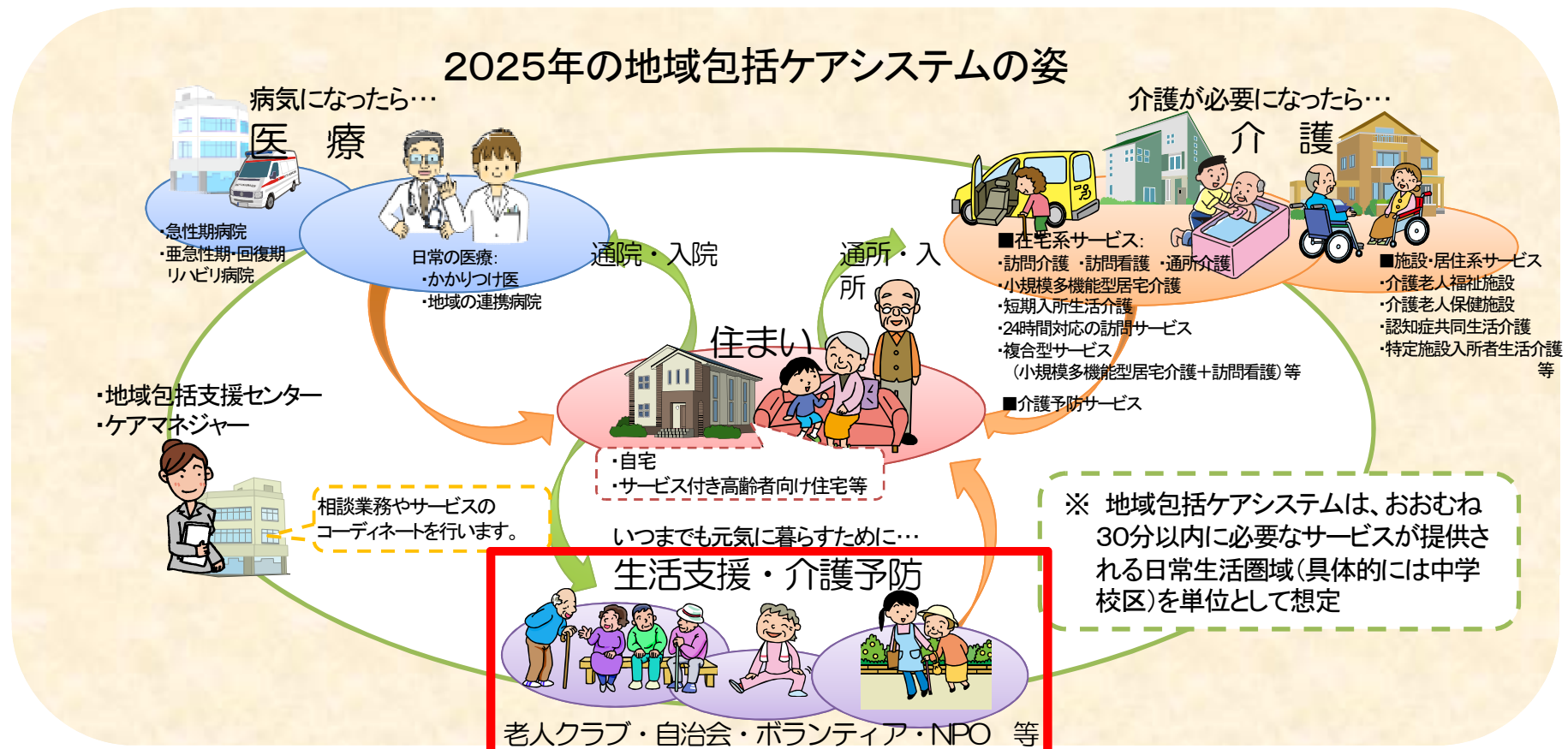
# 地域ケアにおける諸課題

## ⑥住民参加による小地域福祉活動の振興

- 今後の地域ケアにおける一次予防や予防的相談対応との関連で小地域福祉活動は重要性が増す。
- 地区社協活動・ふれあいいいきいきサロン・見守りネットワーク・住民相互の助け合い活動の振興・地域の居場所づくり・・・etc
- 一次予防は、住民参加による自主的取り組みの場づくりが不可欠

# 介護の将来像(地域包括ケアシステム)

- 住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現により、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるようになります。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齡化の進展状況には大きな地域差を生じています。  
地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や、都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。



# 地域包括ケアの目的と基盤形成

地域住民の福利の向上



地域住民の保健医療福祉の増進を包括的に支援



地域包括ケアとは、  
「地域住民が住み慣れた地域で安心して**尊厳あるその人らしい生活を継続できるように**、介護保険制度による公的サービスのみならず、その他の**フォーマルやインフォーマルな多様な社会資源を本人が活用できるように**、包括的および継続的に提供すること」

出典 長寿社会開発センター「地域包括支援センター運営マニュアル」

# 東京都立川市

## ●地域概況

立川市は、東京都のほぼ中央、多摩地域にあります。市域の南側には多摩川が、北側には玉川上水の清流が流れ、地形は平坦です。業務核都市として商業・業務機能の整備が進み、JR立川駅徒歩圏内に国営公園や自治大学校もあります。市域の北部は都市農業や武蔵野の雑木林など緑豊かな地域を形成しています。

人口 179,243人

## ●高齢化率

65歳以上 22.81%

75歳以上 10.36%

2014年11月現在



立川市キャラクター・くるりん



有数の生産量を誇る立川うど



国営公園

# 立川市の位置

## 【面積】

24.38平方キロメートル



## 【交通】

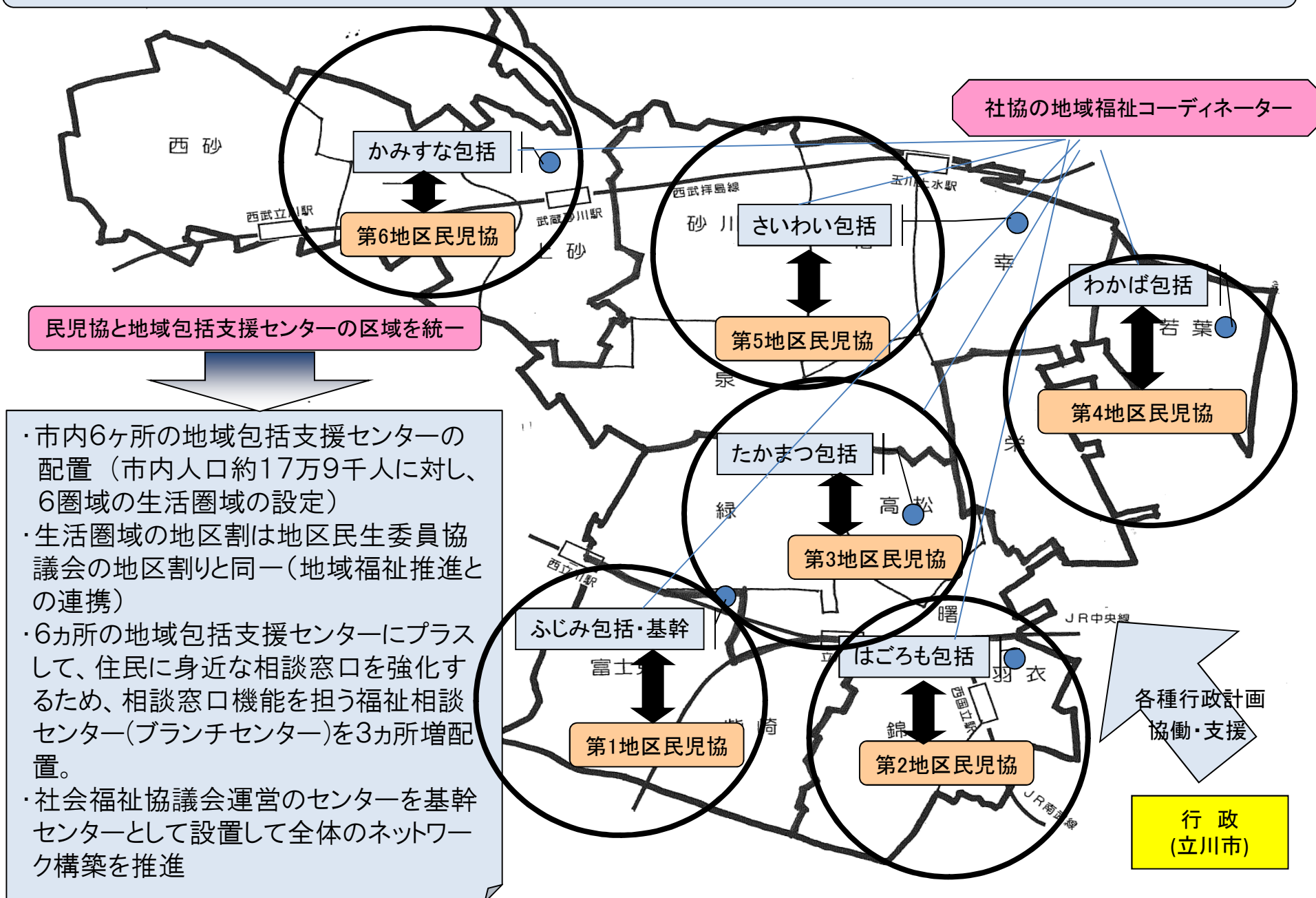
東京都の東西を結ぶJR中央線が走り、東京駅から立川駅までの距離は37.5キロメートル。

また、立川駅にはJR青梅線、JR南武線が乗り入れているほか、多摩モノレールが南北に走り、バス路線も網の目のように近隣市との間を結んでいます。

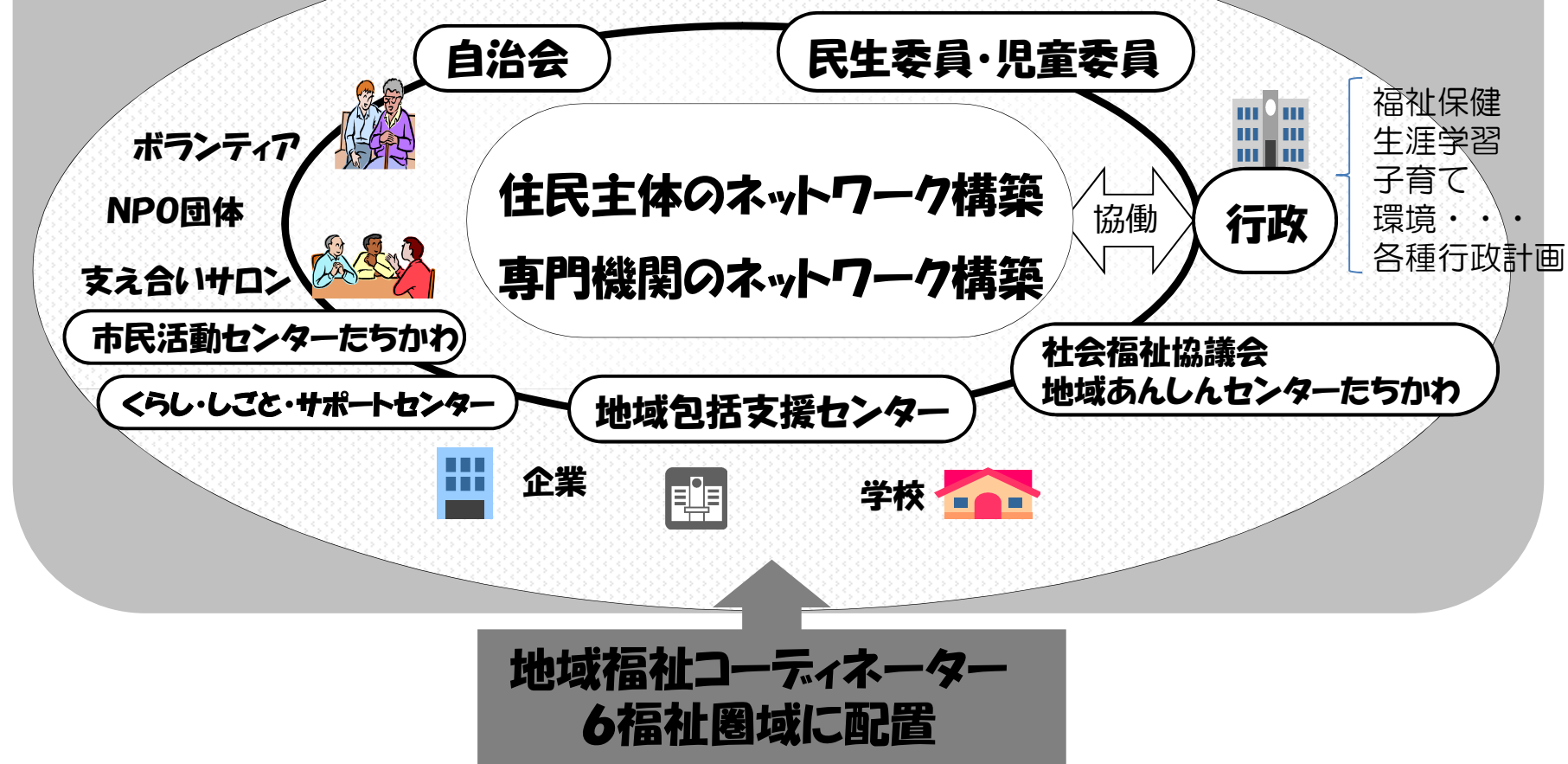
交通不便地域を補完する市民バス「くるりんバス」が、市内3ルートで運行しています。



# 立川市における日常生活圏域・福祉圏域6エリアの設定と地域包括支援センターの整備状況



# 行政・社会福祉協議会・地域包括支援センター の協働によるシステム構築



立川市杜協地域福祉活動計画

～誰もがふつうにらせる

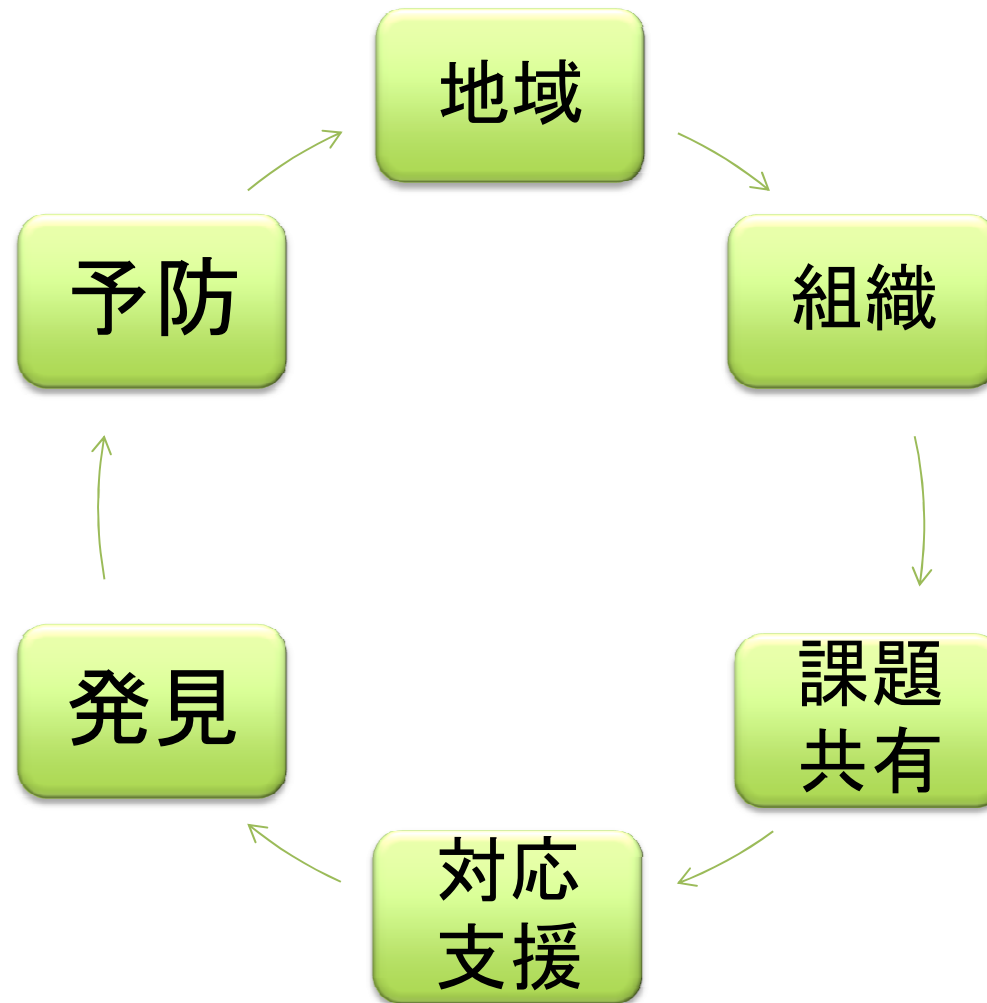
しあわせなまち立川～

協働推進

立川市地域福祉計画

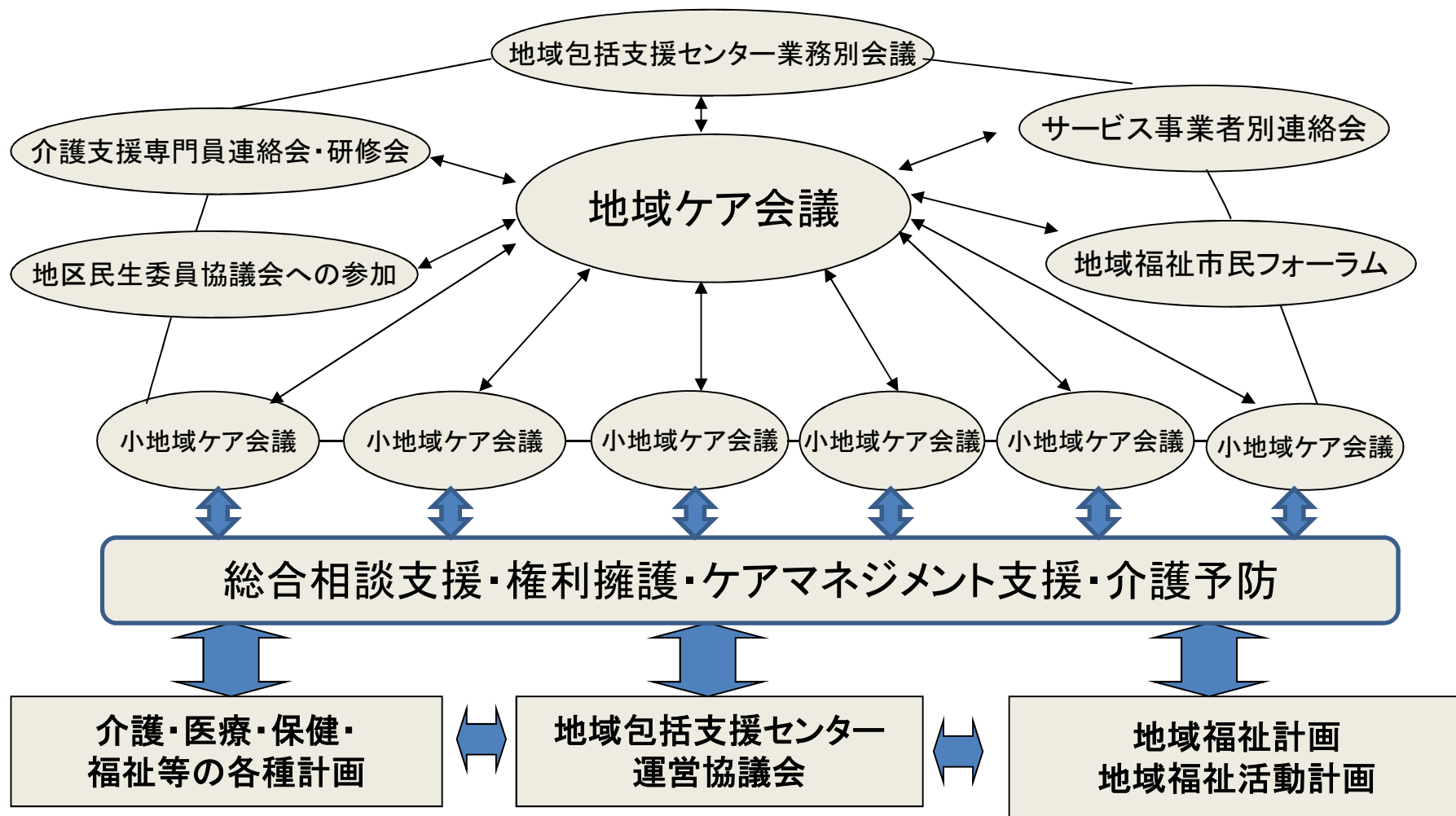
協働し、参加し、自らつくるまちづくり

# 地域のしくみづくりから、 個別ニーズキャッチへ





# 地域包括ケアネットワークの構築



# 毎月開催の市域全体の 地域ケア会議・参加団体一覧

- 地域包括支援センター・福祉相談センター
- 高齢福祉課・介護保険課・健康推進課  
(※各課管理職、係長、担当職員)
- 東京都多摩立川保健所(地区担当保健師)
- 社会福祉協議会(権利擁護担当、市民活動・地域福祉担当)
- シルバー人材センター(家事援助コーディネーター)
- 消費生活センター(相談員)
- 市内6病院(ソーシャルワーカー・地域連携室看護師等)

※会議冒頭に地域の新規社会資源紹介の時間を設けて、市内外に新規開設した介護・医療事業所・NPO、ボランティアグループ等を随時紹介

# 小地域ケア会議(生活圏域ケア会議)

- 生活圏域ごとに地域包括支援センターが隔月開催（年間6回）
- 福祉コミュニティづくりにむけた担当圏域の地域課題の検討と問題解決にむけた取り組みの推進。
- 地域の関係者間の情報・意見交換と地域包括ケアネットワークの形成。情報交換や事例の検討等を通じた地域課題の把握。
- 福祉・介護・医療情報等の関係者への周知。立川市地域ケア会議で発出された事務連絡等の地域関係者への周知等。

# 各種専門職連絡会による地域ケア基盤形成

## ○介護支援専門員連絡会

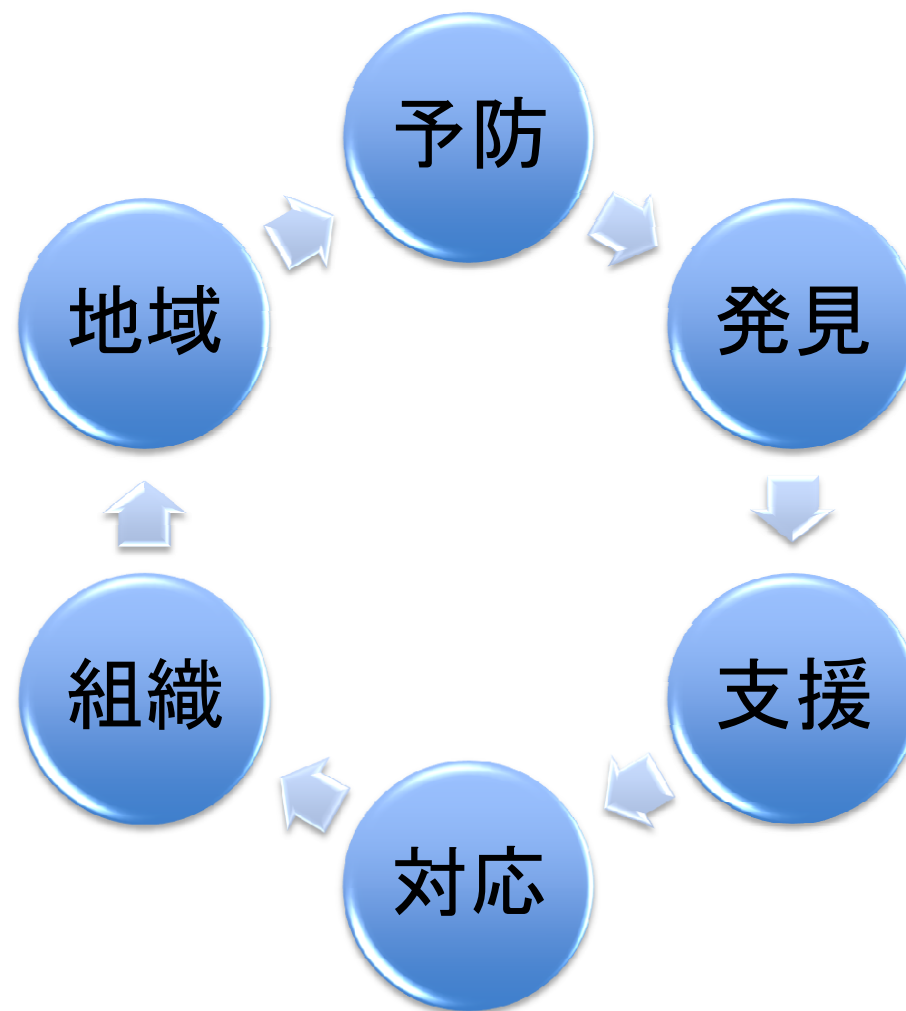
## ○サービス事業者別の連絡会

- ・訪問介護連絡会
- ・通所サービス連絡会
- ・地域密着サービス連絡会
- ・訪問看護連絡会 等

## ○地域包括支援センター業務別連絡会

- ・総合相談支援・権利擁護業務連絡会（社会福祉士）
- ・ケアマネジメント支援業務連絡会（主任CM）
- ・介護予防業務連絡会（保健師・看護師）

# 個別支援と地域支援の循環関係



# 社会福祉協議会とは？

- 「地域福祉」の推進を目的とした団体

● 「社会福祉法」第109条

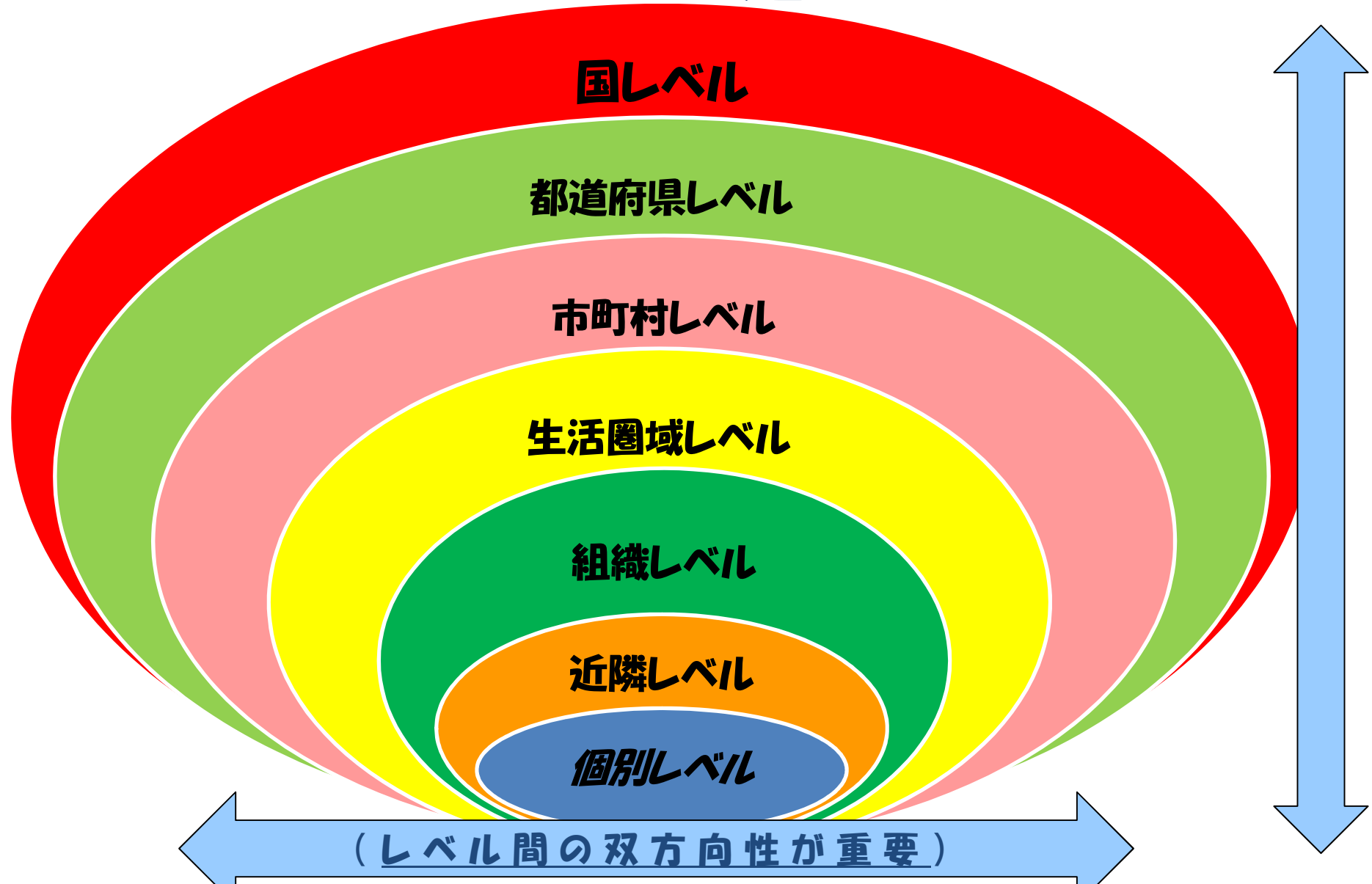
- ①社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- ②社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- ③社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- ④そのほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

# **社会福祉協議会 地域福祉コーディネーターとは？**

- ・孤立のないまち**
  - ・住民が心配ごとの解決に参加できるまち**
- をめざして活動をすすめます**



# 地域包括ケア 7つの空間構造の視点





# 主人公は誰なのか

- 主人公は「サービス利用の主体」、「地域実践の主体」、「政策形成の主体」でもある**本人・家族・地域住民・市民**。
  - 本人主体、住民主体・参加のまちづくりができるかどうかは、今後の医療・福祉・介護連携も含めた、あらゆる地域レベルの取り組みの主要課題
- **自分ができることを、できる範囲で行う主体的取り組みの結びつき。**

## **最後に**

- **住民参加の福祉のまちづくり**
  - **自分ができるところを、できる範囲で行う**
  - **自助、互助、共助、公助の組み合わせ**
  - **基本は自分自身と人を大切にできるかどうか。一人一人が尊厳を持った大切な存在**
- **誰もが自分の本来の力を発揮し、支えあい、共に生きていくことが実現した地域・社会**